【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2014-131623(P2014-131623A)
【公開日】平成26年7月17日(2014.7.17)
【年通号数】公開・登録公報2014-038
【出願番号】特願2013-249122(P2013-249122)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｆ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１４Ｇ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月24日(2014.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、
遊技者にとって有利な有利状態に移行させるか否かを決定する有利状態決定手段と、
遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、
前記導出操作手段が操作されたときに、予め定められた引込範囲内の表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、
所定の設定操作手段の操作に基づいて、遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちから、いずれかの設定値を選択して設定する設定値設定手段と、
遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちからいずれかの設定値を選択可能な設定可能状態に制御する設定可能状態制御手段と、
前記スロットマシンに異常が発生したか否かを判定する異常判定手段と、
外部出力信号を出力するための外部出力端子と、
前記設定可能状態制御手段により前記設定可能状態に制御されている旨を示す設定中信号と、前記異常判定手段が前記スロットマシンに異常が発生したと判定したことに基づいて該異常の発生を示す異常信号とを前記外部出力信号として出力させるための制御を行う外部出力制御手段と、
前記設定中信号と前記異常信号とを同一の前記外部出力端子から出力させるための信号変換手段とを備え、
前記事前決定手段は、同一ゲームにおける決定対象として、第１の入賞の発生を許容する旨を決定する第１の決定、第１の入賞の発生を許容する旨及び第２の入賞の発生を許容する旨を同時に決定する第２の決定を行うことが可能であり、

前記有利状態決定手段は、前記事前決定手段により前記第１の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定しない第１の確率と前記事前決定手段により前記第１の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定する第２の確率の合算確率に占める前記第２の確率の比率、前記事前決定手段により前記第２の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定しない第３の確率と前記事前決定手段により前記第２の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定する第４の確率の合算確率に占める前記第４の確率の比率のうち一方が他方の比率よりも高くなる確率で前記有利状態に移行させるか否かを決定し、

前記導出制御手段は、

前記第１の決定がなされたときに、前記複数の可変表示部に跨る複数のラインのうち第１のラインに特定の組合せを構成する識別情報が停止する第１の表示結果及び前記複数のラインのうち第２のラインに前記特定の組合せを構成する識別情報が停止する第２の表示結果のうち前記第１の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果の双方を前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第２の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行い、

前記第２の決定がなされたときに、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第１の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果の双方を前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第２の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行うことを特徴とする、スロットマシン。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】

本発明は、たとえば、スロットマシンに関する。詳しくは、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンに関する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】

ボーナス役を含めた各役の入賞が発生するためには、一般的には、事前（通常はスタートレバー操作時）に行なわれる内部抽選に当選して当選フラグが設定されていなければならない。そして、内部抽選に当選している役を構成する図柄の組合せを所定コマ数の範囲内で引き込み可能な場合に有効なラインに揃えるようにするとともに、内部抽選に当選していない役を構成する図柄の組合せを有効なラインに揃えないようにするリール制御が行なわれるものがあった（たとえば、特許文献１）。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この発明の目的は、期待感を抱かせかつ遊技の興趣を向上させることができるスロットマシンを提供することである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
（１）　各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、
遊技者にとって有利な有利状態に移行させるか否かを決定する有利状態決定手段と、
遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、
前記導出操作手段が操作されたときに、予め定められた引込範囲内の表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、
所定の設定操作手段の操作に基づいて、遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちから、いずれかの設定値を選択して設定する設定値設定手段と、
遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちからいずれかの設定値を選択可能な設定可能状態に制御する設定可能状態制御手段と、
前記スロットマシンに異常が発生したか否かを判定する異常判定手段と、
外部出力信号を出力するための外部出力端子と、
前記設定可能状態制御手段により前記設定可能状態に制御されている旨を示す設定中信号と、前記異常判定手段が前記スロットマシンに異常が発生したと判定したことに基づいて該異常の発生を示す異常信号とを前記外部出力信号として出力させるための制御を行う外部出力制御手段と、
前記設定中信号と前記異常信号とを同一の前記外部出力端子から出力させるための信号変換手段とを備え、
前記事前決定手段は、同一ゲームにおける決定対象として、第１の入賞の発生を許容する旨を決定する第１の決定、第１の入賞の発生を許容する旨及び第２の入賞の発生を許容する旨を同時に決定する第２の決定を行うことが可能であり、
前記有利状態決定手段は、前記事前決定手段により前記第１の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定しない第１の確率と前記事前決定手段により前記第１の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定する第２の確率の合算確率に占める前記第２の確率の比率、前記事前決定手段により前記第２の決定がなされかつ前記有利状態に移行させる旨を決定しない第３の確率と前記事前決定手段により前記第２の決定がなされ

かつ前記有利状態に移行させる旨を決定する第４の確率の合算確率に占める前記第４の確率の比率のうち一方が他方の比率よりも高くなる確率で前記有利状態に移行させるか否かを決定し、

前記導出制御手段は、

前記第１の決定がなされたときに、前記複数の可変表示部に跨る複数のラインのうち第１のラインに特定の組合せを構成する識別情報が停止する第１の表示結果及び前記複数のラインのうち第２のラインに前記特定の組合せを構成する識別情報が停止する第２の表示結果のうち前記第１の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果の双方を前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第２の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行い、

前記第２の決定がなされたときに、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第１の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第１の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果の双方を前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行い、前記第１の表示結果及び前記第２の表示結果のうち前記第２の表示結果のみ前記引込範囲内で導出可能な場合に前記第２の表示結果を導出する制御を行う。

なお、以下の構成を備えるものでもよい。

遊技用価値を用いて１ゲームに対して所定数の賭数（たとえば、３）を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置に表示結果が導出されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置における複数の入賞ライン（入賞ラインＬ１～Ｌ５）のうちいずれかの入賞ライン上に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシン（実施例におけるスロットマシン１）であって、

前記可変表示装置の表示結果が導出される前に、通常遊技状態よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態（ビッグボーナス（２））への移行を伴う特別入賞（ビッグボーナス（２））を含む複数種類の入賞各々の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（抽選処理）と、

該事前決定手段の決定結果に応じて、前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行なう導出制御手段（リール回転処理）と、

前記特別入賞に対応する特別入賞表示結果（「青７－青７－青７」）が前記複数の入賞ラインのいずれかの入賞ライン上に導出されたときに、前記特別遊技状態に制御する特別遊技状態制御手段（入賞判定処理においてビッグボーナス（２）に入賞したときにビッグボーナス（２）に制御するための処理）と、

前記事前決定手段により前記特別入賞の発生を許容する旨が決定され、前記特別入賞表示結果が前記複数の入賞ラインのいずれにも導出されなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定を次ゲーム以降に持ち越す持越手段（特別ワーク、払出処理）と、

所定の演出（遊技演出）を実行する演出実行手段（サブ制御部９１）とを備え、

前記導出制御手段は、

前記持越手段により前記特別入賞の発生を許容する旨の決定が持ち越されていることを条件として、前記特別入賞表示結果を前記複数の入賞ラインのうち所定数の入賞ライン（１ライン）に導出させる所定数ライン入賞制御を行ない（ビッグボーナス（２）に当選しているときであって、２枚役（２）に当選していないときのリール制御参照）、

前記持越手段により前記特別入賞の発生を許容する旨の決定が持ち越されておりさらに前記事前決定手段により前記複数種類の入賞のうち特定入賞（特定小役、２枚役（２））の発生が許容されている旨が決定されていることを条件として、前記特別入賞表示結果を前記複数の入賞ラインのうち前記所定数と異なる特定数（２ライン）の入賞ラインに導出させる特定数ライン入賞制御を行ない（ビッグボーナス（２）に当選しているときであって、さらに２枚役（２）に当選しているときのリール制御参照）、

前記特別遊技状態制御手段は、前記特別入賞表示結果が導出された入賞ライン数に関わらず、共通の前記特別遊技状態（ビッグボーナス（２））に制御し、

前記演出実行手段は、前記特別入賞表示結果が導出された入賞ライン数に応じて、特別な演出（ナビ演出）を実行する（ビッグボーナス（２）が２ライン入賞時にはナビ演出回数として２０回が設定される、ビッグボーナス（２）が１ライン入賞時にはナビ演出回数として０回が設定されてナビ演出が行なわれない）。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２１２】

操作検出コマンドは、１枚ＢＥＴスイッチ５、ＭＡＸＢＥＴスイッチ６、スタートスイッチ７、ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒ、精算スイッチ１０の検出状態、すなわちＯＮ／ＯＦＦ、これらスイッチが遊技の進行上有効な状態であるか、無効な状態であるか（１枚ＢＥＴスイッチ５、ＭＡＸＢＥＴスイッチ６の操作の受付は、賭数の設定が可能な状態で、かつ規定数の賭数が未だ設定されておらず、さらにクレジットが残っている状態で有効となりそれ以外では無効となる。スタートスイッチ７の操作の受付は、規定数の賭数が設定された後、スタートスイッチ７が操作されるまで有効となり、それ以外では無効となる。ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作の受付は、リールが定速回転となり、リールの停止準備ができた後、それぞれの停止操作が検出されるまで有効となり、それ以外では無効となる。精算スイッチ１０は、ゲーム終了後、次ゲームが開始されるまでの期間においてクレジットが残存するか、賭数が設定されている場合に有効となり、それ以外は無効となる。）、を示すコマンドであり、これらスイッチの検出状態が変化したときに、その操作の受付が遊技の進行上、有効な期間であるか、無効な期間であるか、に関わらず送信される。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０４０７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０４０７】

連続演出は、初期遊技状態、ＲＴ１、およびＲＴ２中であるときに、ビッグボーナス、レギュラーボーナス、および２枚役のうち少なくともいずれかに当選したことを条件として開始し、３ゲームにわたり一連の物語を展開する演出を行なった後に、物語の結末としてボーナス当選の有無および種類を報知するボーナス当選報知を行なう演出である。本実施の形態においては、連続演出を開始するタイミングが、ビッグボーナス、レギュラーボーナス、２枚役のいずれかに当選したときに連続演出を開始する例について説明するが、連続演出はビッグボーナス、レギュラーボーナス、２枚役のいずれかに当選したことを契機として開始されるタイミングであれば、どのようなタイミングであってもよい。たとえば、ビッグボーナス、レギュラーボーナス、２枚役のいずれかに当選したゲームが終了したときであってもよく、また、ビッグボーナス、レギュラーボーナス、２枚役のいずれかに当選したゲーム以降のゲームが開始されたときであってもよい。これにより、ゲーム終了時以降に連続演出が開始されることに期待感を抱かせることができる。